

わいわいひろば おすすめ絵本のたより

第3号 2025年6月9日 作新学院大学女子短期大学部

「だるまちゃんとてんぐちゃん」

加古里子 作・絵
福音館書店

私のおすすめする本は、加古里子さんの「だるまちゃんとてんぐちゃん」という絵本です。この絵本は、だるまちゃんが、友だちのてんぐちゃんの持っているうちわや帽子などの持ち物に憧れ、自分も同じようなものを手に入れようと試行錯誤するお話です。

この本をおすすめするポイントは、だるまちゃんとてんぐちゃんの表情やしぐさがユーモラスで、子どもにとって親近感がわきやすい点です。同じ展開が繰り返されるため、読み聞かせをすると、だるまちゃんが持ち物を探す場面などで、「これは違う！」と声を出して楽しむことができると思います。

この絵本は、様々な絵を見ながら物の名前を覚えることができるため、言葉が増えてくる2歳頃の子どもの読み聞かせにぴったりだと思います。



2年 杉山愛華

「ちゃいろのほん」

五味太郎 著
復刊ドットコム

私は、五味太郎さんの「ちゃいろのほん」という絵本をお勧めします。この絵本は、色彩の中でも地味とされがちな「ちゃいろ」に焦点を当て、その魅力を再発見させてくれる作品です。

茶色はなんだか暗くて、子ども受けが悪い色というイメージですが、この絵本には、子どもが好きな「ちゃいろ」が詰まっているので、生活の中にある茶色を探すきっかけにもなりそうです。「色ってなんだろう？」「色っておもしろい！」と、子どもも大人も新たな発見があるかもしれませんね。この絵本は、色や物の認識ができるようになってきた子どもと一緒に読むことで、色や物への興味・関心がさらに高まります。また、色のシリーズ絵本であるため、あか、しろ、みどり...など全色読んでみたくくなります。

小さいお子さまは読み聞かせ、大きくなったら自分で読む本にも最適な絵本だと思います。ぜひお家の中にある「ちゃいろ」を探してお子さまとの時間を楽しんでみてください。

2年 斎藤 秋

※本書は、1979～1980年に文化出版局から刊行された「いろのいろいろ 絵本」シリーズが、2015年に新たな装丁で復刊されたもののひとつです。

「どうぶつサーカスはじまるよ」

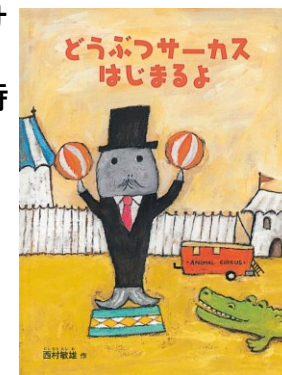
西村敏雄 著
福音館書店

私がおすすめする絵本は、西村敏雄さんの「どうぶつサーカスはじまるよ」です。ライオン、カンガルーなど色々な動物達が登場し、得意のサーカスを披露するお話です。

私は保育所実習で、3歳の子ども達にこの絵本の読み聞かせをしました。「パンパカパーン」と絵本が始まり、子ども達の興味がグッと惹きつけられるのを感じました。子ども達や読み手もサーカスを一緒に見ている気分になり、お客さんになりきって動物達に拍手をしたり、カウントダウンをしたりと絵本の世界に入り込めるためとても盛り上がります。次はどんな動物が出てくるのかと子ども達の目がキラキラしていました。

読み聞かせをする時には、司会のアザランになりきって読むと盛り上がると思います。子ども達は大喜びで、お昼寝前などの気持ちを落ち着けたい時ではなく、子どもと一緒にコミュニケーションを楽しみたい時におすすめです。本当にサーカスを見に行ったような楽しい気分になれる絵本です。

2年 寺田紗彩



- ☆ 作新学院大学女子短期大学部で保育を学ぶ短大生達がおすすめの絵本を紹介します。
- ☆ 今年度は、わいわいひろば内にてキッズスペースを設けています。
- ☆ 作新学院大学図書館で、一般の方も絵本や本を借りることができます。
- ☆ 手続き方法などをお知りになりたい場合は、お気軽にスタッフまでお声かけください。